

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生命の科学（生物）	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）	
授業概要	生命活動の基礎	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医学の基礎であるヒトの体の成り立ち、仕組み、はたらきを理解し「生化学」「生理学」の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 生物学	
特記		
授業計画	1	生命の誕生、変遷
	2	生命をつくる物質
	3	細胞の一生と固体の成り立ち
	4	生殖によって子孫をつくる 遺伝と遺伝子
	5	発生して体をつくる 刺激の受容と反応
	6	刺激の受容と反応 内部環境を保つしくみ
	7	内臓の機能と免疫システム 動物の行動と進化
	8	単位習得試験
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	化学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）	
授業概要	化学の基本的な知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	化学の基本的な知識を理解し専門基礎の「生化学」「生理学」の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 化学	
特記		
授業計画	1	原子 原子の配置 原子のイオン化 元素の周期表
	2	化学結合・元素の性質・物質量
	3	結晶の種類・化学量・化学反応式と物質量
	4	溶液・固体の溶解度
	5	酸・塩基・金属のイオン化傾向
	6	酸化・還元反応（電池）・物質の三態変化
	7	命名法・異性体について 単糖・多糖・二糖類、アミノ酸
	8	単位習得試験
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生活文化論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）	
授業概要	社会学について理解し社会問題等について考える	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	基本的な社会学について理解し近年の社会問題等について考えることができるようにしていく	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	ジェンダーとは TST
	2	ジェンダーという概念 性差観 MHFスケール
	3	性の多様性 ジェンダーアイデンティティ
	4	性別化得点算出 性の多様性（ジェンダーX）
	5	フェミニズム ジェンダーステレオタイプ ジェンダースキーマ
	6	BSRI
	7	社会化とジェンダー
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生活文化論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）	
授業概要	社会学の考えから生命科学と医療倫理の基本的な問題点	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	基本的な社会学の考えから生命科学と医療倫理の基本的な問題点をとらえていけるようにする	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	クーリー・ミードの理論 セクシュアリティ
	2	自己（自我）について 自我と他者のコミュニケーション
	3	ポストモダンの考え方
	4	ポストモダンの発想と自己
	5	社会学の理念 社会学の全体構造ポストモダンと自己
	6	家族をめぐる社会学 夫婦・親子・核家族・脱近代家族 家族周期
	7	メディアと情報化をめぐる社会学 信頼
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人間関係論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間（1 単位）	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	心理検査の体験などを通じて自分自身を理解し見つめる	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	心理検査の体験などを通じて自分自身を理解し見つめていく	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	TST 私の人生設計 I
	2	人格と性格 性格類型論
	3	TAT
	4	防衛機制 P-Fスタディ
	5	ユング 向性指数
	6	心理的機能 パーソナリティ類型、心理学的タイプ論
	7	交流分析
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人間関係論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）	
授業概要	自分自身を理解しさらに患者さんの心理世界への理解	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	自分自身を理解しさらに患者さんの心理世界への理解へとつなげていく	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	自己評価
	2	自我同一性
	3	自己表現 アニマ・アニムス
	4	マズローの自己表現 基本的対人態度測定インベントリー
	5	ホーナイ アサーティブチェックリスト 社会的スキル
	6	親子関係性 乳幼児期と母子関係 個体化理論 愛着理論
	7	ストレスとストレスコーピング
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	情報処理	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	PCの基本的な原理と操作方法、情報セキュリティー等	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	歯科医療に必要なPCの基本操作を学び、情報セキュリティーを理解し、守秘義務・個人情報の保護を遵守するための知識を得る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	Wordの画面について Lesson 1 文書の作成と管理
	2	Lesson 2 ビジネス文書の作成（問題演習あり）
	3	Lesson 3 レポートや報告書の作成 Lesson 4 表、図形、画像の基本
	4	Lesson 5 表の編集、ワードアート、図形の編集、SmartArtの作成方法
	5	Lesson 6 社内文書、社外文書、挨拶状
	6	問題演習（Word）
	7	Excelの画面について Lesson 1 絶対参照と相対参照
	8	Lesson 2 表の編集と印刷設定
	9	Lesson 3 グラフの作成 Lesson 4 図形挿入と編集
	10	Lesson 5 オートシェイ Lesson 6 関数
	11	Lesson 6 関数
	12	Lesson 6 関数
	13	Lesson 7 ハイパーリンクとWEB上での同時編集
	14	問題演習（Excel）
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	問題演習 単位認定試験（実技試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科英語	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科診療に役立つ英語表現法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	英語の基礎を理解し歯科診療の様々な場面で役に立つ英語表現法を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科英語	
特記		
授業計画	1	Lesson 1
	2	Lesson 2
	3	Lesson 3
	4	Lesson 4
	5	Lesson 5
	6	Lesson 6
	7	Lesson 7
	8	Lesson 8
	9	Lesson 9
	10	Lesson 10
	11	Lesson 10
	12	Lesson 10
	13	Lesson 10
	14	まとめ
	15	ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	解剖・組織発生学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	人体の構造、組織に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の構造、組織に関する基本的知識について習得する	
教科書	医歯薬出版 解剖学・組織発生学・生理学	
特記		
授業計画	1	上皮組織
	2	支持・筋・神経
	3	神経総論 脳神経
	4	消化吸収 食道
	5	胃・小腸・大腸
	6	肝臓・膵臓
	7	呼吸
	8	呼吸
	9	循環 血液
	10	心臓・胎児の循環系
	11	動脈系・静脈系・リンパ系
	12	排泄
	13	神経
	14	内分泌 生殖器
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生理・口腔生理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	人体の機能、構成成分に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の機能、構成成分に関する基本的知識について習得する 口腔の基本的な機能について習得する	
教科書	医歯薬出版 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
特記		
授業計画	1	歯の感覚・味覚
	2	歯の感覚・味覚
	3	筋・骨・神経
	4	筋・骨・神経
	5	反射
	6	反射
	7	筋の種類
	8	筋の種類
	9	消化吸収
	10	消化吸収
	11	循環
	12	循環
	13	呼吸
	14	排泄
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔解剖学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	45時間（3単位）	
授業コマ数	23コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識について習得する	
教科書	医歯薬出版 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
特記		
授業計画	1 口腔解剖学総論 2 口腔の構造（概論） 3 口腔の機能（概論） 4 口腔と顔面を構成する骨 5 顔面・口腔の筋とその作用 6 顎関節の構造と機能 7 口腔付近の脈管 8 口腔に分布する神経 9 唾液腺、味覚 10 下顎位・下顎の運動 11 摂食と嚥下、発声 12 歯の性質、歯の種類と名称・特徴 13 歯の形態 14 永久歯・乳歯の特徴 15 歯列と咬合	16 歯・歯周組織の発生 17 エナメル質、象牙質、歯髄 18 歯周組織（セメント質、歯根膜） 19 歯周組織（歯槽骨、歯肉） 20 歯周組織の生理、口腔粘膜 21 歯のスケッチ（実習） 22 歯のスケッチ（実習） 23 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生化学・栄養学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	人体の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素について学び「食事指導法」の学習へつなげていく 食事がどのように生命の維持につながるのかを学ぶ	
教科書	医歯薬出版 栄養と代謝	
特記		
授業計画	1	生体構成成分
	2	糖質
	3	脂質 単純脂質
	4	脂質 複合脂質
	5	脂質 誘導脂質
	6	脂質 ステロール
	7	タンパク質
	8	核酸
	9	酵素
	10	ビタミン
	11	無機質
	12	ホルモン
	13	口腔生化学
	14	栄養 食事摂取基準 食生活と食品 食べ物と健康
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	病理学・口腔病理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	病因と病態及び口腔領域の先天異常	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	病因と病態及び口腔領域の先天異常についての知識を習得する 口腔領域の様々な疾患の基礎を学び、臨床歯科医学の学習へつなげる	
教科書	医歯薬出版 病理学・口腔病理学	
特記		
授業計画	1	病理学序論と病因論
	2	遺伝性疾患と奇形
	3	循環障害
	4	代謝障害と退行性病変
	5	増殖と修復
	6	炎症と免疫応答異常 腫瘍
	7	歯の発育異常
	8	歯の損傷と着色・付着物
	9	う蝕 象牙質・歯髄複合体の病態
	10	歯周組織の病態 口腔粘膜の病変
	11	口腔領域の嚢胞と腫瘍 口腔癌
	12	顎骨の病変 唾液腺の病変
	13	口腔領域の奇形
	14	口腔組織の加齢変化
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	微生物学・口腔微生物学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	感染と免疫と生体との関連	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	感染と免疫と生体との関連についての基礎知識を習得する 「病理学」「薬理学」の知識と関連付け、臨床歯科医学の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 微生物学	
特記		
授業計画	1	1章 疾病と微生物
	2	1章 疾病と微生物
	3	2章 微生物の病原性 総論
	4	2章 微生物の病原性 総論
	5	2章 微生物の病原性 各論
	6	2章 微生物の病原性 細菌
	7	2章 微生物の病原性 ウイルス
	8	復習
	9	3章 免疫機構 宿主防衛と免疫
	10	3章 免疫機構 液性免疫
	11	3章 免疫機構 細胞免疫
	12	4章 口腔微生物
	13	5章 口腔感染症
	14	6章 化学療法
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	薬理学・口腔薬理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	薬物の知識及び薬物の生体への作用等	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	薬物についての基礎知識及び薬物が及ぼす生体への作用等の知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 薬理学	
特記		
授業計画	1	I編 総論 薬物の作用 薬物動態 薬物の適用方法の種類と特徴 薬物の作用に影響を与える要因
	2	I編 総論 薬物の副作用 有害作用 医薬品を適用する際の注意 薬物の取り扱い 薬物の法律・薬物と医薬品
	3	末梢神経系に作用する薬物
	4	末梢神経系に作用する薬物
	5	中枢神経系に作用する薬物
	6	中枢神経系に作用する薬物
	7	循環器系に作用する薬物
	8	循環器系に作用する薬物
	9	腎臓に作用する薬物
	10	呼吸器系、消化器系に作用する薬物
	11	血液に作用する薬物 免疫と薬
	12	悪性腫瘍と薬 代謝性疾患治療薬
	13	ビタミンとホルモン 炎症と薬 痛みと薬
	14	局所麻酔薬 抗感染症薬
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	衛生学・公衆衛生学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	環境・社会と歯科口腔保健との関連性	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	環境・社会と歯科口腔保健との関連性について習得する 「歯科保健指導論」「口腔衛生学」「衛生行政・社会保障」の学習へとつなげていく	
教科書	医歯薬出版 保健生態学 第3版	
特記		
授業計画	1	I編 1章 総論
	2	2章 疫学
	3	3章 人口
	4	4章 健康と環境
	5	5章 感染症
	6	6章 食品と健康
	7	III編 1章 地域保健・公衆衛生
	8	2章 母子保健
	9	3章 学校保健
	10	4章 成人保険
	11	5章 産業保健
	12	6章 老人保健
	13	7章 精神保健
	14	8章 災害時の歯科保健
	15	9章 国際保健
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔衛生学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進についての知識を習得する 臨床歯科医学の学習へとつなげていく	
教科書	医歯薬出版 保健生態学 第3版	
特記		
授業計画	1	歯・歯列弓 歯の萌出時期 歯の種類と機能
	2	咬合（永久歯・乳歯） 歯の組織 歯の硬組織の成分 歯の形成及びその順序
	3	歯周組織 歯肉・粘膜の構造 舌の構造
	4	唾液腺と唾液 口腔の運動と咀嚼・嚥下 開口・閉口の筋運動
	5	歯・口腔の付着物（ペリクル・歯垢）
	6	歯・口腔の付着物（歯垢・歯石）
	7	口腔清掃
	8	う蝕予防
	9	う蝕病因論（keyseの病因論、Stephan curve）
	10	う蝕活動性試験
	11	予防の3相5段階
	12	フッ素の性状 フッ素の中毒 フッ素の全身応用 フッ素の局所応用
	13	フッ化物配合歯磨剤
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	地域歯科保健・歯科保健統計	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動に関する基本的知識について習得する 「衛生学・公衆衛生学」の知識と関連付け、「歯科保健指導論」「衛生行政・社会保障」の学習へとつなげていく	
教科書	医歯薬出版 保健情報統計学	
特記		
授業計画	1	除去と分数、比と率
	2	百分率と代表値
	3	指標と指数 う蝕経験
	4	DMF、DMFT
	5	歯周疾患の指数 総論
	6	歯周疾患の指数 PMA GI PI PDI
	7	歯周疾患の指数 G b c o u n t CPI
	8	歯・口腔清掃の指数 OHI OHI-S PII PHP PCR
	9	歯・口腔清掃の指数 CPIとフロリデーション
	10	有病と罹患（抑制率） 疫学論
	11	復習
	12	復習
	13	復習
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	衛生行政・社会保障	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	関連法規と制度及び保健・医療・福祉とそれを取り巻く環境	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯科衛生士として必要となる関連法規と制度についての知識を習得する。併せて、社会における保健・医療・福祉とそれを取り巻く環境についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための衛生行政 社会福祉 社会保険	
特記		
授業計画	1	総論
	2	歯科衛生士法
	3	欠格事由について
	4	歯科医師法
	5	歯科医師法
	6	歯科技工士法
	7	歯科衛生士法 保健師助産師看護師法との比較
	8	社会保障 医療保険
	9	社会保障 労災保険
	10	社会保障 介護保険
	11	地域福祉の発展
	12	地域福祉の政策展開
	13	地域福祉の推進方法
	14	社会保険・社会保障の用語
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科衛生士概論	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科衛生士業務、医療倫理、医療安全管理、チーム医療	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	歯科衛生士業務を实践するために必要な考え方、医療倫理、医療安全管理及びチーム医療についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学総論	
特記		
授業計画	1	歯科衛生学とは 歯科衛生と健康
	2	歯科衛生学とは 歯科衛生活動
	3	歯科衛生の歴史 誕生と経緯
	4	歯科衛生の歴史 役割と展望
	5	歯科衛生活動のための理論 予防の概念
	6	歯科衛生活動のための理論 歯科衛生の考え方 科学的思考
	7	歯科衛生過程とは
	8	歯科衛生過程の流れ
	9	歯科衛生士法と歯科衛生衛生業務
	10	関連法規
	11	歯科衛生士と医療倫理
	12	対象の自己決定権の尊重 インフォームド・コンセント
	13	歯科衛生士の活動と組織 歯科衛生活動の現況
	14	歯科衛生士と組織
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト、提出物、出席率 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科保存学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンス	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯の硬組織疾患の種類と原因とその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 保存修復・歯内療法	
特記		
授業計画	1	歯の保存療法の種類
	2	口腔検査
	3	保存修復の概論
	4	保存修復の概論
	5	保存修復の概論
	6	保存修復の概論
	7	直接法修復
	8	直接法修復
	9	間接法修復
	10	間接法修復
	11	保存修復における歯科衛生士の役割
	12	保存修復における歯科衛生士の役割
	13	実習 マトリックスバンド装着 セメント充填
	14	実習 セメント充填 レジン充填
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯内療法学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯、歯髄の疾患と原因とその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯、歯髄の疾患と原因とその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 保存修復・歯内療法	
特記		
授業計画	1	歯内療法の概論
	2	歯内療法の概論
	3	歯髄保存療法
	4	歯髄保存療法
	5	歯髄の除去療法
	6	歯髄の除去療法
	7	根管治療 根管充填
	8	実習 根管治療 根管充填
	9	外科的歯内療法
	10	外科的歯内療法
	11	歯の外傷
	12	歯の外傷
	13	歯内療法における安全対策
	14	歯内療法における歯科衛生士の役割
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯周療法学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	歯周組織の疾患とその原因、治療法及びメンテナンス
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	歯周組織の疾患とその原因、治療法及びメンテナンスについての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯周病学
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 正常な歯周組織の構造と機能 2 歯周病の種類と原因 3 歯周病の種類と原因 4 歯周病の種類と原因 5 正常な歯肉歯周病の分類まとめ 歯周病の原因まとめ 6 歯周治療の進め方 7 歯周治療の進め方 8 歯周治療の進め方 9 歯周検査 10 歯周検査 11 歯周検査 12 歯周基本治療 13 歯周外科 14 メインテナンス 15 スケーリング、SRP、シャープニング
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	歯科補綴学																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	1年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）																														
授業概要	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンス																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンスについての知識を習得する																														
教科書	医歯薬出版 歯科補綴																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>I編 1章</td></tr> <tr><td>2</td><td>I編 2章</td></tr> <tr><td>3</td><td>I編 3章</td></tr> <tr><td>4</td><td>I編 4章</td></tr> <tr><td>5</td><td>II編 1章</td></tr> <tr><td>6</td><td>II編 2章</td></tr> <tr><td>7</td><td>II編 3章</td></tr> <tr><td>8</td><td>II編 4章</td></tr> <tr><td>9</td><td>II編 5章</td></tr> <tr><td>10</td><td>II編 6章</td></tr> <tr><td>11</td><td>I編 まとめ II編 まとめ</td></tr> <tr><td>12</td><td>III編 1章</td></tr> <tr><td>13</td><td>III編 2章</td></tr> <tr><td>14</td><td>III編 3章</td></tr> <tr><td>15</td><td>III編 4章</td></tr> </tbody> </table>	1	I編 1章	2	I編 2章	3	I編 3章	4	I編 4章	5	II編 1章	6	II編 2章	7	II編 3章	8	II編 4章	9	II編 5章	10	II編 6章	11	I編 まとめ II編 まとめ	12	III編 1章	13	III編 2章	14	III編 3章	15	III編 4章
1	I編 1章																														
2	I編 2章																														
3	I編 3章																														
4	I編 4章																														
5	II編 1章																														
6	II編 2章																														
7	II編 3章																														
8	II編 4章																														
9	II編 5章																														
10	II編 6章																														
11	I編 まとめ II編 まとめ																														
12	III編 1章																														
13	III編 2章																														
14	III編 3章																														
15	III編 4章																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	発達歯科学（小児歯科学）	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	小児についての理解と関連する疾病、疾患及びその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	小児についての理解と関連する疾病、疾患及びその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 小児歯科	
特記		
授業計画	1	小児歯科の基礎知識 概論
	2	顔面頭蓋の発育 心身の発育 歯の発育とその異常 小児の生理的特徴
	3	歯列・咬合の発育と異常
	4	小児の歯科疾患
	5	小児期の特徴と歯科的問題点
	6	小児歯科診療について
	7	小児期の特徴と歯科的問題点
	8	患者との対応法
	9	診療体系 障害児の歯科診療
	10	小児歯科における歯科衛生士の役割 診療・検査時の業務
	11	う蝕予防 診療補助
	12	小児の口腔保健管理
	13	小児の口腔保健管理
	14	小児歯科総論
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔外科学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	顎、口腔領域の疾患についてとその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	顎、口腔領域の疾患についてとその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 口腔外科・歯科麻酔	
特記		
授業計画	1	口腔外科の概要
	2	顎口腔領域の先天異常
	3	転位歯
	4	外傷と疾患
	5	顎関節病変
	6	口腔粘膜の病変
	7	赤血球系の疾患
	8	顎骨の炎症
	9	腫瘍の分類と代表的な腫瘍
	10	エナメル上皮腫
	11	口腔外科診療の実際
	12	口腔外科診療の実際
	13	救急蘇生法
	14	救急蘇生法
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科矯正学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科矯正 医歯薬出版 小児歯科
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 矯正歯科治療の概要 2 成長発育 3 正常咬合 4 不正咬合 5 診断学 6 診断学 7 矯正歯科治療と「力」 8 矯正歯科治療と「力」 9 矯正装置 10 矯正装置 11 矯正歯科治療の実際 顎の前後的關係の不調和 12 矯正歯科治療の実際 顎の垂直的關係の不調和 成人矯正 形成異常と変形 13 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 14 矯正歯科患者と口腔保健管理 口腔機能療法 15 器材・資料・文書の管理
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	高齢者・障害者口腔保健学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	高齢者・障害者の理解と関連する疾患とその治療法及びリハビリテーション
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	高齢者・障害者の理解と関連する疾患とその治療およびリハビリテーションについての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 高齢者歯科 障害者歯科
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者を取りまく社会と環境 2 加齢による身体的・精神的変化と疾患 3 高齢者の状態の把握 4 口腔ケア 5 摂食嚥下リハビリテーション 6 高齢者に関わる医療と介護 7 高齢者における歯科衛生過程 8 高齢者歯科まとめ 9 障害者歯科とは 10 障害者歯科に関わる法律 11 障害の特徴と歯科的対応 12 障害の種類と歯科的特徴 13 障害者と薬剤 14 障害の種類と特徴 15 摂食嚥下障害
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科予防処置論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科予防処置の概念と基本的な知識	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	歯科予防処置の概念と基本的な知識を習得する 歯石除去の基本操作と使用器具についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論	
特記		
授業計画	1 歯科予防処置論の概要 定義・法的な位置づけ 2 歯科予防処置論の概要 予防の概念 3 口腔の基礎知識 正常な口腔 歯周組織 4 口腔の基礎知識 歯冠と歯根の形態 5 歯周病の基礎知識 口腔内の付着物・沈着物 6 歯周病の基礎知識 歯周病 7 口腔内の情報収集 口腔内の観察 8 口腔内の情報収集 検査 9 歯科衛生介入のための予防処置 スケーリング 10 手用スケーラーの知識 11 マネキンの取り扱い 12 ポジショニング 13 上顎前歯部唇側面マネキン実習 14 下顎前歯部唇側面マネキン実習 15 上顎前歯部口蓋側面マネキン実習 16 下顎前歯部舌側面マネキン実習 17 上下顎右側臼歯部 中央部 マネキン実習 18 上下顎左側臼歯部 中央部 マネキン実習 19 上顎前歯部 人工歯石マネキン実習 20 下顎前歯部 人工歯石マネキン実習 21 シャープニングの基礎知識 22 シックルスケーラーのシャープニング 23 シックルスケーラーのシャープニング 24 マネキン復習 25 シックルスケーラー マネキン実技試験	26 シックルスケーラー マネキン実技試験 27 相互実習オリエンテーション 28 軟組織損傷、薬物、目に汚物が入ったときの予防と対応 29 口腔内観察 相互実習 30 口腔内観察 相互実習 31 上顎前歯部 エキスプローラー操作 32 下顎前歯部 エキスプローラー操作 33 プローブの基礎知識 34 プローピング 相互実習 35 口腔内観察 相互実習 36 シックルスケーリング 相互実習 37 キュレットスケーラーの基礎知識 38 キュレットスケーラーの基本操作 39 上下前歯部 マネキン実習 40 上顎右側臼歯部 マネキン実習 41 上顎左側臼歯部 マネキン実習 42 下顎右側臼歯部 マネキン実習 43 下顎左側臼歯部 マネキン実習 44 キュレットスケーラーのシャープニング 45 キュレットスケーラーのシャープニング
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト、提出物、出席率 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	歯科予防処置論Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	歯科衛生学科			
履修年次	2年次			
開講学期	前期			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び実習			
授業時間	60時間（2単位）			
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）			
授業概要	歯・口腔の健康状態を把握、歯周組織検査、予防処置使用器具の基本的操作法			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	歯・口腔の健康状態を把握し歯周組織検査、予防処置使用器具の基本操作法を習得する			
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論			
特記				
授業計画	1	歯面研磨についての基礎知識	16	キュレットスケーラー 相互実習
	2	洗浄・貼薬についての基礎知識	17	キュレットスケーラー 相互実習
	3	歯面研磨 マネキン実習	18	超音波スケーラーの基礎知識
	4	歯面研磨 相互実習	19	エアースケーラーの基礎知識
	5	下顎右側臼歯部 頬側 マネキン実習	20	超音波スケーラー 相互実習
	6	下顎左側臼歯部 舌側 マネキン実習	21	エアースケーラー 相互実習
	7	下顎左側臼歯部 頬側 マネキン実習	22	歯面清掃器についての基礎知識
	8	下顎右側臼歯部 舌側 マネキン実習	23	歯面清掃器 マネキン実習
	9	上顎右側臼歯部 頬側 マネキン実習	24	歯面清掃器 相互実習
	10	上顎左側臼歯部 口蓋側 マネキン実習	25	歯面清掃器 相互実習
	11	上顎左側臼歯部 頬側 マネキン実習	26	PMT Cについての基礎知識
	12	上顎右側臼歯部 口蓋側 マネキン実習	27	PMT Cについてのマネキン実習
	13	キュレットスケーラーのシャープニング	28	PMT C 相互実習
	14	キュレットスケーラー 相互実習	29	臨床実習とは
	15	キュレットスケーラー 相互実習	30	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科予防処置論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	対象者別の予防処置の計画を立案・実行、操作する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	対象者別の予防処置の計画を立案・実行、操作することができるようになる	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論	
特記		
授業計画	1 歯面研磨について（復習） 2 洗浄・貼薬について（復習） 3 キュレットスケーラーの使い方（復習） 4 超音波スケーラーの使い方（復習） 5 エアスケーラーの使い方（復習） 6 歯面清掃器の使い方（復習） 7 手用スケーラーの使い方 8 臨床実習の振り返りと考察 9 マネキン実習 10 マネキン実習 11 マネキン実習 12 マネキン実習 13 スケーリング 相互実習 14 スケーリング 相互実習 15 スケーリング 相互実習	16 PMTCについて（復習） 17 PMTC 相互実習 18 PMTC 相互実習 19 PMTC 相互実習 20 予防処置計画の立案 21 予防処置計画の立案 22 相互実習（予防処置計画の実行） 23 相互実習（予防処置計画の実行） 24 相互実習（予防処置計画の実行） 25 相互実習（予防処置計画の実行） 26 相互実習（予防処置計画の実行） 27 相互実習（予防処置計画の実行） 28 相互実習（予防処置計画の実行） 29 相互実習（予防処置計画の実行） 30 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	う蝕予防処置	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	う蝕の基礎知識と予防法について学びその技術	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	う蝕の基礎知識と予防法について学びその技術を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法	
特記		
授業計画	1	齶蝕予防処置法とは 齶蝕の疫学 齶蝕予防処置法における歯科衛生士の役割 齶蝕予防処置法実習にあたっての注意
	2	齶蝕発生メカニズム 初期う蝕と再石灰
	3	齶蝕活動性試験の実習 *カリオスタット *RDテスト
	4	フッ化物によるう蝕予防機序 フッ素の代謝 フッ素の中毒
	5	フッ化物応用によるう蝕予防方法 ライフステージに応じたフッ化物応用
	6	齶蝕予防措置法を実施するための注意事項
	7	フッ化物溶液局所塗布法のアウトライン う蝕予防効果について予防率の求め方
	8	フッ化物溶液の味の確認 綿球中のフッ素量 イオントレーに含まれる溶液量
	9	フッ化物塗布の相互実習（綿球法）
	10	フッ化物塗布の相互実習（スポンジトレー法）
	11	鍍銀法：フッ化ジアンミン銀の応用
	12	小窩裂溝填塞法
	13	フッ化ジアンミン銀の抜去歯牙への塗布実習 フッ化物洗口法
	14	フッ化ジアンミン銀の手指および布への着色 脱色実習 塗布相互実習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科保健指導論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	健康と疾病の概念、健康増進・維持の知識・技術	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	健康と疾病の概念の理解と口腔の健康増進・維持のための知識・技術を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版	
特記		
授業計画	1 保健指導論の概要 2 刷掃法の基本 3 毛先を使ったブラッシング法 4 毛先を使ったブラッシング法 5 わき腹を使ったブラッシング法 6 わき腹を使ったブラッシング法 7 電動歯ブラシ 8 歯磨剤の知識 9 洗口剤の基礎知識 10 デンタルフロス 基礎知識 11 デンタルフロス 使い方 12 その他の清掃補助用具 基礎知識 13 その他の清掃補助用具 使い方 14 口腔清掃まとめ 口腔清掃まとめ 15 復習	16 口腔清掃実習 口腔清掃実習 17 歯垢染色 18 PCR 19 データ分析の実習 染色 20 データ分析の実習 PCR 21 保健指導論に関する基礎知識 総論 22 保健指導論基礎知識 摂食嚥下の過程 23 歯科衛生過程の概要 24 歯科衛生過程の概要 25 情報収集 26 医療面接 27 分析のためのデータ OHI 28 分析のためのデータ OHI-S 29 復習 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	歯科保健指導論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	歯科衛生学科		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義及び実習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	対象別（ライフステージ別）の口腔衛生指導・メンテナンス		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	対象別（ライフステージ別）の口腔衛生指導・メンテナンスについての知識を習得する		
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		
特記			
授業計画	1 2年の授業の概要説明 2 1年時の復習 3 指数 プラーク・歯石の指数 4 指数 プラーク・歯石の指数 5 歯周疾患の指数 6 歯周疾患の指数 7 その他の指数 8 指数 まとめ 9 ライフステージにおける歯科衛生介入とは 10 妊産婦期 11 新生児期・乳幼児期 12 幼児期 13 学齢期 14 青年期 15 成人期	16 老年期 17 要介護高齢者 18 障害者 19 まとめ 20 口腔観察実習 21 保健指導実習 22 行動変容理論 総論 23 行動変容理論 24 行動変容理論 禁煙指導 25 SOAP式記録 26 SOAP式記録実践 27 歯科衛生過程演習 28 歯科衛生過程演習 29 復習 30 まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	歯科保健指導論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	歯科衛生学科		
履修年次	3年次		
開講学期	前期・後期		
科目区分	必修		
授業方法	講義及び実習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	集団保健指導		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	集団保健指導を行うにあたっての計画立案・準備・実施の課程を習得する		
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論		
特記			
授業計画	1 小集団指導法の概論 2 小集団指導法の計画立案と考察 3 幼稚園 媒体作成 媒体講話作成 4 幼稚園 媒体作成 媒体講話作成 5 幼稚園 媒体作成 媒体講話作成 6 幼稚園 媒体作成 媒体講話作成 7 幼稚園 媒体作成 媒体講話作成 8 幼稚園 媒体作成 媒体講話作成 9 媒体講話発表・振り返り・修正 10 媒体講話発表・振り返り・修正 11 媒体講話発表・振り返り・修正 12 媒体講話発表・振り返り・修正 13 媒体講話発表・振り返り・修正 14 まとめ 15 小学校 媒体作成 媒体講話作成	16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	小学校 媒体作成 媒体講話作成 小学校 媒体作成 媒体講話作成 小学校 媒体作成 媒体講話作成 小学校 媒体作成 媒体講話作成 小学校 媒体作成 媒体講話作成 媒体講話発表・振り返り・修正 媒体講話発表・振り返り・修正 媒体講話発表・振り返り・修正 媒体講話発表・振り返り・修正 媒体講話発表・振り返り・修正 保健指導ロールプレイング 保健指導ロールプレイング 保健指導ロールプレイング 復習 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	食事指導法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	対象者別に食生活指導を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	口腔保健と生活習慣の関連についてと栄養について理解し対象者別に食生活指導を行うための知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 栄養と代謝 医歯薬出版 日本食品成分表2020	
特記		
授業計画	1	食をとりまく環境 国民健康栄養調査
	2	現在の食の問題点 肥満・脂肪摂取量
	3	現在の食の問題点 食塩・野菜・カルシウム 食事バランスガイド
	4	食育基本法 食生活指針
	5	五大栄養素 糖質・脂質・タンパク質
	6	五大栄養素 ビタミン・ミネラル
	7	バランスの良い食事献立作成
	8	食生活のマネジメント
	9	食事記録→食事指導 保健機能食品
	10	喫煙指導 シュガーコントロール
	11	ライフステージ 妊産婦期
	12	新生児期・乳児期 幼児期
	13	学齢期 青年期
	14	成人期 老年期
	15	要介護高齢者 障害者
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	口腔リハビリテーション論	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	口腔機能管理の意義と目的、リハビリテーションについての知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	口腔機能管理の意義と目的を知り全身疾患との関連の理解とリハビリテーションについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版	
特記		
授業計画	1	総論
	2	総論
	3	摂食嚥下のメカニズム
	4	摂食嚥下のメカニズム
	5	小児
	6	障害及びケアプロセス
	7	障害及びケアプロセス
	8	検査
	9	間接訓練
	10	間接訓練
	11	直接訓練
	12	直接訓練
	13	臨床での応用
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科診療補助論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科診療補助の基礎、基本的な技術	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	歯科診療における診療補助の基礎、基本的な技術を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論 第2版	
特記		
授業計画	1 歯科診療補助の概要と意義 2 歯科衛生士法における法的位置づけ 3 診療補助と診療解除の違い 4 歯科診療補助の流れ 5 医療安全とは 6 歯科医療における感染症の概念 7 感染症と感染予防策 8 標準予防策 9 医療従事者としての対応 10 診療室・診療機器の感染予防 11 手指消毒と分類・基本的手法 12 手指消毒と分類・基本的手法実習 13 グローブの付け方外し方 14 グローブの付け方外し方実習 15 滅菌消毒洗浄の定義	16 滅菌法・滅菌のモニタリング 17 滅菌・消毒の準備実習 18 滅菌・洗浄の実習 19 滅菌時の注意 偶発時の対応 20 廃棄物の概要 21 歯科診療室で発生する廃棄物 22 歯科診療室の環境 23 薬品・材料の管理 24 共同作業の概念 25 共同作業の方法実習 26 ポジショニング・ライティング 27 患者誘導 28 ポジショニング・ライティング実習 29 衛生材料 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																																																											
授業科目	歯科診療補助論Ⅱ																																																																											
実務家教員																																																																												
学部・学科	歯科衛生学科																																																																											
履修年次	2年次																																																																											
開講学期	前期																																																																											
科目区分	必修																																																																											
授業方法	講義及び実習																																																																											
授業時間	30時間（1単位）																																																																											
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）																																																																											
授業概要	臨床に対応し得る歯科診療補助技術を習得する																																																																											
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																																																																											
達成目標	歯科診療補助、介助について臨床に対応し得る技術を習得する																																																																											
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論 第2版																																																																											
特記																																																																												
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>衛生材料実習 綿球</td><td>ロールワッテ</td><td>カット綿</td><td>小折ガーゼ作成</td></tr> <tr><td>2</td><td>衛生材料実習 綿球</td><td>ロールワッテ</td><td>カット綿</td><td>小折ガーゼ作成</td></tr> <tr><td>3</td><td colspan="4">口腔内洗浄・バキューム</td></tr> <tr><td>4</td><td colspan="4">口腔内洗浄・バキューム実習</td></tr> <tr><td>5</td><td colspan="4">歯の切削時におけるバキューム実習</td></tr> <tr><td>6</td><td colspan="4">歯科材料の基礎知識</td></tr> <tr><td>7</td><td colspan="4">印象材の分類</td></tr> <tr><td>8</td><td colspan="4">印象材の取り扱い</td></tr> <tr><td>9</td><td colspan="4">アルジネート印象材実習</td></tr> <tr><td>10</td><td colspan="4">連合印象実習</td></tr> <tr><td>11</td><td colspan="4">合成ゴム質印象材・その他の印象材</td></tr> <tr><td>12</td><td colspan="4">模型用材料</td></tr> <tr><td>13</td><td colspan="4">石膏模型作成実習</td></tr> <tr><td>14</td><td colspan="4">合着材・印象材の基礎知識</td></tr> <tr><td>15</td><td colspan="4">合着材実習 接着性レジンセメント実習</td></tr> </table>	1	衛生材料実習 綿球	ロールワッテ	カット綿	小折ガーゼ作成	2	衛生材料実習 綿球	ロールワッテ	カット綿	小折ガーゼ作成	3	口腔内洗浄・バキューム				4	口腔内洗浄・バキューム実習				5	歯の切削時におけるバキューム実習				6	歯科材料の基礎知識				7	印象材の分類				8	印象材の取り扱い				9	アルジネート印象材実習				10	連合印象実習				11	合成ゴム質印象材・その他の印象材				12	模型用材料				13	石膏模型作成実習				14	合着材・印象材の基礎知識				15	合着材実習 接着性レジンセメント実習			
1	衛生材料実習 綿球	ロールワッテ	カット綿	小折ガーゼ作成																																																																								
2	衛生材料実習 綿球	ロールワッテ	カット綿	小折ガーゼ作成																																																																								
3	口腔内洗浄・バキューム																																																																											
4	口腔内洗浄・バキューム実習																																																																											
5	歯の切削時におけるバキューム実習																																																																											
6	歯科材料の基礎知識																																																																											
7	印象材の分類																																																																											
8	印象材の取り扱い																																																																											
9	アルジネート印象材実習																																																																											
10	連合印象実習																																																																											
11	合成ゴム質印象材・その他の印象材																																																																											
12	模型用材料																																																																											
13	石膏模型作成実習																																																																											
14	合着材・印象材の基礎知識																																																																											
15	合着材実習 接着性レジンセメント実習																																																																											
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																																																																											
備考																																																																												

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科診療補助論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	臨床での対応応力を習得の計画立案・準備・実施	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	基本的技術の反復習熟を行い臨床での対応力を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論 第2版	
特記		
授業計画	1 保存修復器材のセッティング 2 コンポジットレジン 3 インレー修復 4 保存修復器材のセッティング実習 5 保存修復器材のセッティング実習 6 保存修復器材のセッティング実習 7 根管治療 8 根冠治療のセッティング実習 9 根冠治療のセッティング実習 10 根冠充填 11 根冠充填のセッティング実習 12 根冠充填のセッティング実習 13 歯周治療 14 歯周治療のセッティング実習 15 歯周治療のセッティング実習	16 小児歯科・矯正歯科治療用器材 17 小児歯科治療用器材のセッティング実習 18 小児歯科治療用器材のセッティング実習 19 矯正歯科治療用器材のセッティング実習 20 矯正歯科治療用器材のセッティング実習 21 補綴用器材 義歯適合試験材 22 補綴器材のセッティング実習 23 補綴器材のセッティング実習 24 口腔内写真撮影 25 口腔内写真撮影実習 26 全身疾患と症状 27 在宅訪問時の歯科診療補助 28 歯科衛生士の業務記録 29 医療保険 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	感染予防法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	医療安全管理について理解し感染対策の定義・方法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療安全管理について理解し感染対策の定義・方法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 新・歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄	
特記		
授業計画	1	感染予防対策の基本
	2	感染予防対策の基本
	3	歯科診療における感染予防対策の実際
	4	歯科診療における感染予防対策の実際
	5	総論の復習
	6	滅菌・消毒・洗浄の基本
	7	滅菌・消毒・洗浄の基本
	8	滅菌の基本
	9	消毒の基本
	10	洗浄の基本
	11	消毒・洗浄の基本と実際
	12	医療従事者の感染予防対策
	13	感染性廃棄物の処理
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	臨床検査法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	臨床検査の目的・倫理、検査の種類と検査値の評価	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般臨床検査の目的・倫理と安全について理解し検査の種類と検査値の評価についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 臨床検査	
特記		
授業計画	1	臨床検査とは 検体の種類
	2	検査の種類
	3	検査成績の読み方 基準値・変動要因
	4	生体検査
	5	脈拍と血圧
	6	心機能
	7	肺機能・筋電図・脳波・血中酸素濃度
	8	検体検査
	9	検体検査
	10	検体検査
	11	病態別検査値のとらえ方
	12	病態別検査値のとらえ方
	13	病態別検査値のとらえ方
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急法・救急蘇生法	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	救急救命処置について習得	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	全身管理とモニタリングバイタルサインについて理解し、救急救命処置について習得する	
教科書	オリジナルテキスト 配布プリント・資料	
特記		
	1	救急蘇生法総論
	2	一次救命処置
	3	B L S
	4	循環器について
	5	小児B L S
	6	ショック
	7	バイタルサイン
	8	バイタルサイン
	9	バイタルサイン
	10	一次救命処置実習
	11	一次救命処置実習
	12	バイタルサイン実習
	13	実技総合演習
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科放射線学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	放射線の知識、使用器具、撮影法、写真処置と画像管理	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	放射線についての理解、使用器具、撮影法、写真処置と画面管理について習得する X線撮影時の歯科衛生士の役割を学ぶ	
教科書	医歯薬出版 歯科放射線	
特記		
授業計画	1	放射線総論
	2	放射線総論
	3	X線の発生
	4	X線の性質
	5	X線写真の幾何学的要因
	6	X線写真の幾何学的要因
	7	撮影法 口内法
	8	撮影法 口外法
	9	感光材料
	10	感光材料
	11	放射線障害
	12	放射線防護
	13	撮影実習 デンタル
	14	撮影実習 パノラマ
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	臨地実習 I	
実務家教員	○	
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（2単位）	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う	
授業の進め方	歯科医院の指導を基により実践的な知識と技術を学ぶ	
達成目標	実践的な知識と技術を習得する	
教科書		
特記		
授業計画	1	臨地実習
	2	臨地実習
	3	臨地実習
	4	臨地実習
	5	臨地実習
	6	臨地実習
	7	臨地実習
	8	臨地実習
	9	臨地実習
	10	臨地実習
	11	臨地実習
	12	臨地実習
成績評価方法 (試験実施方法)	実習評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容				
授業科目	臨地実習Ⅱ				
実務家教員	○				
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部				
履修年次	2年次				
開講学期	後期				
科目区分	必修				
授業方法	実習				
授業時間	405時間（9単位）				
授業コマ数	51コマ				
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う				
授業の進め方	歯科医院の指導を基により実践的な知識と技術を学ぶ				
達成目標	実践的な知識と技術を習得する				
教科書					
特記					
授業計画	1 臨地実習	21 臨地実習	41 臨地実習	2 臨地実習	42 臨地実習
	2 臨地実習	22 臨地実習	42 臨地実習	3 臨地実習	43 臨地実習
	3 臨地実習	23 臨地実習	43 臨地実習	4 臨地実習	44 臨地実習
	4 臨地実習	24 臨地実習	44 臨地実習	5 臨地実習	45 臨地実習
	5 臨地実習	25 臨地実習	45 臨地実習	6 臨地実習	46 臨地実習
	6 臨地実習	26 臨地実習	46 臨地実習	7 臨地実習	47 臨地実習
	7 臨地実習	27 臨地実習	47 臨地実習	8 臨地実習	48 臨地実習
	8 臨地実習	28 臨地実習	48 臨地実習	9 臨地実習	49 臨地実習
	9 臨地実習	29 臨地実習	49 臨地実習	10 臨地実習	50 臨地実習
	10 臨地実習	30 臨地実習	50 臨地実習	11 臨地実習	51 臨地実習
	11 臨地実習	31 臨地実習		12 臨地実習	
	12 臨地実習	32 臨地実習		13 臨地実習	
	13 臨地実習	33 臨地実習		14 臨地実習	
	14 臨地実習	34 臨地実習		15 臨地実習	
	15 臨地実習	35 臨地実習		16 臨地実習	
	16 臨地実習	36 臨地実習		17 臨地実習	
	17 臨地実習	37 臨地実習		18 臨地実習	
	18 臨地実習	38 臨地実習		19 臨地実習	
	19 臨地実習	39 臨地実習		20 臨地実習	
	20 臨地実習	40 臨地実習			
成績評価方法 (試験実施方法)	実習評価				
備考					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	臨地実習Ⅲ					
実務家教員	○					
学部・学科	歯科衛生学科 昼間部					
履修年次	3年次					
開講学期	前期・後期					
科目区分	必修					
授業方法	実習					
授業時間	405時間（9単位）					
授業コマ数	51コマ					
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う					
授業の進め方	歯科医院の指導を基により実践的な知識と技術を学ぶ					
達成目標	実践的な知識と技術を習得する					
教科書						
特記						
授業計画	1	臨地実習	21	臨地実習	41	臨地実習
	2	臨地実習	22	臨地実習	42	臨地実習
	3	臨地実習	23	臨地実習	43	臨地実習
	4	臨地実習	24	臨地実習	44	臨地実習
	5	臨地実習	25	臨地実習	45	臨地実習
	6	臨地実習	26	臨地実習	46	臨地実習
	7	臨地実習	27	臨地実習	47	臨地実習
	8	臨地実習	28	臨地実習	48	臨地実習
	9	臨地実習	29	臨地実習	49	臨地実習
	10	臨地実習	30	臨地実習	50	臨地実習
	11	臨地実習	31	臨地実習	51	臨地実習
	12	臨地実習	32	臨地実習		
	13	臨地実習	33	臨地実習		
	14	臨地実習	34	臨地実習		
	15	臨地実習	35	臨地実習		
	16	臨地実習	36	臨地実習		
	17	臨地実習	37	臨地実習		
	18	臨地実習	38	臨地実習		
	19	臨地実習	39	臨地実習		
	20	臨地実習	40	臨地実習		
成績評価方法 (試験実施方法)	実習評価					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科診療の現場で求められる、言動や立ち居振る舞いなどビジネスマナー及び基本的な業務の流れを学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とケーススタディ・ディスカッションを通じ、専門的な知識と技術の定着を図る	
達成目標	臨地実習や入職に向け、習得した専門知識や技術を復習し整理昇華する。学んだ技術を「知っている」から「実践出来る」へステップアップする。	
教科書	レジュメ・参考書	
特記		
授業計画	1	歯科衛生業務の概要と復習
	2	歯科衛生業務の概要と復習
	3	歯科衛生業務の概要と復習
	4	歯科診療施設の一日
	5	歯科診療施設の一日
	6	歯科診療施設の一日
	7	患者対応の基礎
	8	患者対応の基礎
	9	ケーススタディ
	10	ケーススタディ
	11	介助者の職業倫理・認知症の理解
	12	移乗移動動作・車椅子
	13	脱衣・着衣・入浴
	14	食事介助、口腔ケア
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験・実技試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科診療の現場で求められる、専門知識や技術の復習及び応用力を養う	
授業の進め方	各種資料による講義とケーススタディ・ディスカッションを通じ、専門的な知識と技術の定着を図る	
達成目標	臨地実習や入職に向け、習得した専門知識や技術を復習し整理昇華する。 歯科衛生士としての心構え及び入職の準備を完了させる。	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ・参考書	
特記		
授業計画	1	歯科衛生士として心構え
	2	職種連携・地域連携
	3	歯科衛生業務の概要と復習
	4	歯科衛生業務の概要と復習
	5	歯科診療施設の一日
	6	歯科診療施設の一日
	7	歯科衛生過程の基礎
	8	歯科衛生過程の基礎
	9	歯科衛生過程の実践
	10	歯科衛生過程の実践
	11	歯科衛生過程の実践
	12	ケーススタディ
	13	ケーススタディ
	14	ケーススタディ
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験・実技試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科診療報酬請求事務	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ（1コマ90分）	
授業概要	歯科診療の報酬計算及び保険請求業務を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯科診療報酬制度の概要と基礎を理解し、診療録から報酬計算が出来る。併せて、社会保険制度など関連法規を理解する。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	社会保険制度・基本診療料
	2	医学管理・在宅医療
	3	検査・病理診断・画像診断
	4	放射線治療・投薬・注射
	5	処置・手術・麻酔
	6	歯科矯正・リハビリテーション
	7	歯冠修復及び欠損補綴
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サービス接遇 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	サービス接遇の基礎知識 秘書検定3級	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	秘書検定3級合格を目指し問題演習に取り組む	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	秘書検定対策1
	2	秘書検定対策2
	3	秘書検定対策3
	4	秘書検定対策4
	5	秘書検定対策5
	6	秘書検定対策6
	7	秘書検定対策7
	8	秘書検定対策8
	9	秘書検定対策9
	10	秘書検定対策10
	11	秘書検定対策11
	12	秘書検定対策12
	13	秘書検定対策13
	14	まとめ
	15	検定模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サービス接遇Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	サービス接遇の実践 ビジネスマナーの実践	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、口のきき方、態度、振舞いなど相手が快適であると感じる満足度を提供できる能力を身に付ける 正しい文章を書くための漢字の知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナーの基本
	2	ビジネスマナーの基礎
	3	ビジネスマナーの基礎
	4	ビジネスマナーの基礎
	5	ビジネスマナー実践（言葉遣い編）
	6	ビジネスマナー実践（電話対応編）
	7	ビジネスマナー実践（電話対応編）
	8	ビジネスマナー実践（電話対応編）
	9	ビジネスマナー実践（電話対応編）
	10	ビジネスマナー実践（患者・受付対応編）
	11	ビジネスマナー実践（患者・受付対応編）
	12	ビジネスマナー実践（患者・受付対応編）
	13	ビジネスマナー実践（患者・受付対応編）
	14	復習
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験・実技試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容											
授業科目	卒業研究											
実務家教員												
学部・学科	歯科衛生学科											
履修年次	3年次											
開講学期	後期											
科目区分	選択											
授業方法	講義及び演習											
授業時間	240時間（8単位）											
授業コマ数	120コマ（1コマ90分）											
授業概要	各科目の復習 歯科衛生国家試験対策											
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る											
達成目標	3年間の学習の振り返りを行い学習理解をより深めると共に歯科衛生国家試験対策を行う											
教科書	医歯薬出版											
特記												
授業計画	1	科目別復習	国家試験対策	41	科目別復習	国家試験対策	81	科目別復習	国家試験対策	2	科目別復習	国家試験対策
	2	科目別復習	国家試験対策	42	科目別復習	国家試験対策	82	科目別復習	国家試験対策	3	科目別復習	国家試験対策
	3	科目別復習	国家試験対策	43	科目別復習	国家試験対策	83	科目別復習	国家試験対策	4	科目別復習	国家試験対策
	4	科目別復習	国家試験対策	44	科目別復習	国家試験対策	84	科目別復習	国家試験対策	5	科目別復習	国家試験対策
	5	科目別復習	国家試験対策	45	科目別復習	国家試験対策	85	科目別復習	国家試験対策	6	科目別復習	国家試験対策
	6	科目別復習	国家試験対策	46	科目別復習	国家試験対策	86	科目別復習	国家試験対策	7	科目別復習	国家試験対策
	7	科目別復習	国家試験対策	47	科目別復習	国家試験対策	87	科目別復習	国家試験対策	8	科目別復習	国家試験対策
	8	科目別復習	国家試験対策	48	科目別復習	国家試験対策	88	科目別復習	国家試験対策	9	科目別復習	国家試験対策
	9	科目別復習	国家試験対策	49	科目別復習	国家試験対策	89	科目別復習	国家試験対策	10	科目別復習	国家試験対策
	10	科目別復習	国家試験対策	50	科目別復習	国家試験対策	90	科目別復習	国家試験対策	11	科目別復習	国家試験対策
	11	科目別復習	国家試験対策	51	科目別復習	国家試験対策	91	科目別復習	国家試験対策	12	科目別復習	国家試験対策
	12	科目別復習	国家試験対策	52	科目別復習	国家試験対策	92	科目別復習	国家試験対策	13	科目別復習	国家試験対策
	13	科目別復習	国家試験対策	53	科目別復習	国家試験対策	93	科目別復習	国家試験対策	14	科目別復習	国家試験対策
	14	科目別復習	国家試験対策	54	科目別復習	国家試験対策	94	科目別復習	国家試験対策	15	科目別復習	国家試験対策
	15	科目別復習	国家試験対策	55	科目別復習	国家試験対策	95	科目別復習	国家試験対策	16	科目別復習	国家試験対策
	16	科目別復習	国家試験対策	56	科目別復習	国家試験対策	96	科目別復習	国家試験対策	17	科目別復習	国家試験対策
	17	科目別復習	国家試験対策	57	科目別復習	国家試験対策	97	科目別復習	国家試験対策	18	科目別復習	国家試験対策
	18	科目別復習	国家試験対策	58	科目別復習	国家試験対策	98	科目別復習	国家試験対策	19	科目別復習	国家試験対策
	19	科目別復習	国家試験対策	59	科目別復習	国家試験対策	99	科目別復習	国家試験対策	20	科目別復習	国家試験対策
	20	科目別復習	国家試験対策	60	科目別復習	国家試験対策	100	科目別復習	国家試験対策	21	科目別復習	国家試験対策
	21	科目別復習	国家試験対策	61	科目別復習	国家試験対策	101	科目別復習	国家試験対策	22	科目別復習	国家試験対策
	22	科目別復習	国家試験対策	62	科目別復習	国家試験対策	102	科目別復習	国家試験対策	23	科目別復習	国家試験対策
	23	科目別復習	国家試験対策	63	科目別復習	国家試験対策	103	科目別復習	国家試験対策	24	科目別復習	国家試験対策
	24	科目別復習	国家試験対策	64	科目別復習	国家試験対策	104	科目別復習	国家試験対策	25	科目別復習	国家試験対策
	25	科目別復習	国家試験対策	65	科目別復習	国家試験対策	105	科目別復習	国家試験対策	26	科目別復習	国家試験対策
	26	科目別復習	国家試験対策	66	科目別復習	国家試験対策	106	科目別復習	国家試験対策	27	科目別復習	国家試験対策
	27	科目別復習	国家試験対策	67	科目別復習	国家試験対策	107	科目別復習	国家試験対策	28	科目別復習	国家試験対策
	28	科目別復習	国家試験対策	68	科目別復習	国家試験対策	108	科目別復習	国家試験対策	29	科目別復習	国家試験対策
	29	科目別復習	国家試験対策	69	科目別復習	国家試験対策	109	科目別復習	国家試験対策	30	科目別復習	国家試験対策
	30	科目別復習	国家試験対策	70	科目別復習	国家試験対策	110	科目別復習	国家試験対策	31	科目別復習	国家試験対策
	31	科目別復習	国家試験対策	71	科目別復習	国家試験対策	111	科目別復習	国家試験対策	32	科目別復習	国家試験対策
	32	科目別復習	国家試験対策	72	科目別復習	国家試験対策	112	科目別復習	国家試験対策	33	科目別復習	国家試験対策
	33	科目別復習	国家試験対策	73	科目別復習	国家試験対策	113	科目別復習	国家試験対策	34	科目別復習	国家試験対策
	34	科目別復習	国家試験対策	74	科目別復習	国家試験対策	114	科目別復習	国家試験対策	35	科目別復習	国家試験対策
	35	科目別復習	国家試験対策	75	科目別復習	国家試験対策	115	科目別復習	国家試験対策	36	科目別復習	国家試験対策
	36	科目別復習	国家試験対策	76	科目別復習	国家試験対策	116	科目別復習	国家試験対策	37	科目別復習	国家試験対策
	37	科目別復習	国家試験対策	77	科目別復習	国家試験対策	117	科目別復習	国家試験対策	38	科目別復習	国家試験対策
	38	科目別復習	国家試験対策	78	科目別復習	国家試験対策	118	科目別復習	国家試験対策	39	科目別復習	国家試験対策
	39	科目別復習	国家試験対策	79	科目別復習	国家試験対策	119	科目別復習	国家試験対策	40	科目別復習	国家試験対策
	40	科目別復習	国家試験対策	80	科目別復習	国家試験対策	120	科目別復習	国家試験対策			
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）											
備考												

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス基礎	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	一般常識、ビジネスマナー、就職対策、漢字対策	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般常識、ビジネスマナーを中心に基礎学力の習得を図る 自己特性を把握し社会人としての準備を始める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字対策
	2	自己分析
	3	漢字対策
	4	自己分析
	5	漢字対策
	6	自己特性の把握（強み、弱み）
	7	漢字対策
	8	業界研究
	9	漢字対策
	10	一般常識対策
	11	漢字対策
	12	文書作成、作文
	13	漢字対策
	14	履歴書作成
	15	漢字対策
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス応用	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	一般常識、ビジネスマナー、就職対策、漢字対策	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般知識科目を中心に社会人基礎能力の育成を行うと共に適性検査、面接など就職対策を行う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字対策
	2	就職試験のマナー（立ち居振る舞い・入退室）
	3	漢字対策
	4	就職試験のマナー（各種エントリー方法の確認）
	5	漢字対策
	6	就職対策（質疑応答）
	7	漢字対策
	8	就職対策（適性試験）
	9	漢字対策
	10	就職対策（自己PR）
	11	漢字対策
	12	就職対策（スピーキング）
	13	漢字対策
	14	就職対策（模擬面接）
	15	漢字対策
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		